



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 ワタベウェディング株式会社  
コード番号 4696 URL <http://www.watabe-wedding.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 花房 伸晃  
問合せ先責任者 (役職名) グループ管理本部長 (氏名) 平木 親臣

TEL 075-778-4111

四半期報告書提出予定日 平成27年11月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	20,806	1.1	△982	—	△891	—	△1,104	—
27年3月期第2四半期	20,577	△8.9	△1,452	—	△1,414	—	△1,094	—

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 △1,240百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △1,027百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△111.47	—
27年3月期第2四半期	△110.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年3月期第2四半期	19,436	—	9,722	—	49.7
27年3月期	20,732	—	10,963	—	52.6

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 9,668百万円 27年3月期 10,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)平成28年3月期の期末配当予想額は未定としております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	△0.5	200	—	260	—	60	—	6.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	9,909,400 株	27年3月期	9,909,400 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	326 株	27年3月期	326 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	9,909,074 株	27年3月期2Q	9,909,074 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成27年11月20日に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において当社グループは、「リゾート挙式」におきましては、第1四半期に出店した宇都宮店、長野店に続いて、2015年8月には京都・四条エリアに「京都四条サロン」をオープンし、国内・海外リゾート挙式専門の相談サロンとしてリゾート挙式の啓蒙とマーケットの拡大を図りました。また、2015年9月には沖縄の「アクアグレイス・チャペル」をリニューアルオープンし、チャペル、パーティールームの改装に加え、列席者専用の控室として「グリーンティングコテージ」を新設するなど、ゲストへのおもてなしを意識した空間を提供することで、より多くのお客様がリゾート挙式にご参加頂けるよう努めてまいりました。しかしながら、競争激化や円安に伴う海外渡航意欲の減退により、挙式取扱組数は減少する結果となりました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、主力である婚礼事業に加えて一般宴会事業や宿泊事業の強化に取り組んでまいりました。目黒雅叙園におきましては、バンケットのリニューアルを実施し、新しいコンセプトによる新たな顧客層の開拓に取り組みました。また目黒雅叙園、メルパルク共に一般宴会の新規顧客開拓や積極的な営業活動を行い、施設の稼働率向上に努めました。これらの結果、一般宴会事業、宿泊事業は好調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高20,806百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業損失982百万円（前年同四半期営業損失1,452百万円）、経常損失891百万円（同 経常損失1,414百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1,104百万円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失1,094百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① リゾート挙式

一組当たりの単価は向上したものの、挙式取扱組数が減少したことにより、売上高は、8,407百万円（前年同四半期比2.5%減）、利益面につきましては、円安進行の影響を大きく受けたことにより、セグメント損失は568百万円（前年同四半期セグメント損失502百万円）となりました。

#### ② ホテル・国内挙式

宴会及び宿泊事業が好調に推移したことにより、売上高は12,398百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント損失は404百万円（前年同四半期セグメント損失964百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,037百万円減少し、7,594百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ258百万円減少し、11,842百万円となりました。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ1,296百万円減少し、19,436百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ353百万円増加し、7,571百万円となりました。これは主に短期借入金の増加によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ408百万円減少し、2,142百万円となりました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ55百万円減少し、9,713百万円となりました。

純資産残高は前連結会計年度末に比べ1,240百万円減少し、9,722百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失1,104百万円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、業績は概ね計画通り推移していることから、平成27年5月12日発表の業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純損失等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,502	4,113
売掛金	1,626	1,520
商品及び製品	256	268
仕掛品	23	17
原材料及び貯蔵品	471	494
その他	1,797	1,219
貸倒引当金	△46	△39
流動資産合計	8,631	7,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,236	4,068
土地	2,220	2,218
その他(純額)	1,383	1,332
有形固定資産合計	7,840	7,618
無形固定資産	640	575
投資その他の資産		
差入保証金	2,845	2,720
その他	806	957
貸倒引当金	△31	△30
投資その他の資産合計	3,619	3,647
固定資産合計	12,100	11,842
資産合計	20,732	19,436
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,532	1,490
短期借入金	625	834
前受金	2,363	2,564
賞与引当金	383	366
その他	2,314	2,314
流動負債合計	7,217	7,571
固定負債		
長期借入金	750	187
退職給付に係る負債	870	920
資産除去債務	579	588
その他	351	446
固定負債合計	2,551	2,142
負債合計	9,769	9,713

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	2,473	1,369
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,687	9,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92	93
繰延ヘッジ損益	162	11
土地再評価差額金	△920	△920
為替換算調整勘定	800	822
退職給付に係る調整累計額	87	77
その他の包括利益累計額合計	223	84
非支配株主持分	52	54
純資産合計	10,963	9,722
負債純資産合計	20,732	19,436

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	20,577	20,806
売上原価	7,308	7,378
売上総利益	13,268	13,428
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	4,940	4,892
賞与引当金繰入額	201	307
退職給付費用	111	78
賃借料	2,751	2,593
その他	6,714	6,539
販売費及び一般管理費合計	14,720	14,410
営業損失(△)	△1,452	△982
営業外収益		
受取賃貸料	30	32
為替差益	17	43
その他	30	42
営業外収益合計	78	118
営業外費用		
支払利息	7	3
その他	33	22
営業外費用合計	40	26
経常損失(△)	△1,414	△891
特別損失		
固定資産除売却損	23	9
施設店舗整理損	38	1
特別損失合計	61	10
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,476	△901
法人税等	△386	198
四半期純損失(△)	△1,089	△1,100
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	4
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,094	△1,104

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,089	△1,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	0
繰延ヘッジ損益	59	△150
為替換算調整勘定	△35	19
退職給付に係る調整額	8	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	62	△140
四半期包括利益	△1,027	△1,240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,034	△1,242
非支配株主に係る四半期包括利益	7	1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,476	△901
減価償却費	809	792
施設店舗整理損	38	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△168	△17
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	70	38
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	7	3
為替差損益(△は益)	15	7
売上債権の増減額(△は増加)	191	108
たな卸資産の増減額(△は増加)	70	△20
仕入債務の増減額(△は減少)	△410	△41
未払金の増減額(△は減少)	△240	86
前受金の増減額(△は減少)	424	209
その他	40	24
小計	△632	289
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△7	△3
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△193	△10
営業活動によるキャッシュ・フロー	△829	278
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△876	△360
有形固定資産の売却による収入	3	1
無形固定資産の取得による支出	△157	△58
投資有価証券の売却による収入	1	—
差入保証金の差入による支出	△145	△16
差入保証金の回収による収入	90	128
その他	△133	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,217	△289
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100	△90
長期借入金の返済による支出	△62	△262
その他	△24	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187	△374
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,233	△389
現金及び現金同等物の期首残高	6,263	4,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,030	4,108

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・国 内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	8,621	11,955	20,577	—	20,577
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,802	55	2,857	△2,857	—
計	11,423	12,011	23,435	△2,857	20,577
セグメント損失(△)	△502	△964	△1,466	14	△1,452

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額14百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・国 内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	8,407	12,398	20,806	—	20,806
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,148	59	3,208	△3,208	—
計	11,556	12,458	24,015	△3,208	20,806
セグメント損失(△)	△568	△404	△972	△9	△982

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△9百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。